

東五防災ボランティア訓練

平成30年7月1日

東青梅五丁目自治会

東青梅五丁目民生児童委員

東青梅五丁目の高齢者状況



独居
約90名

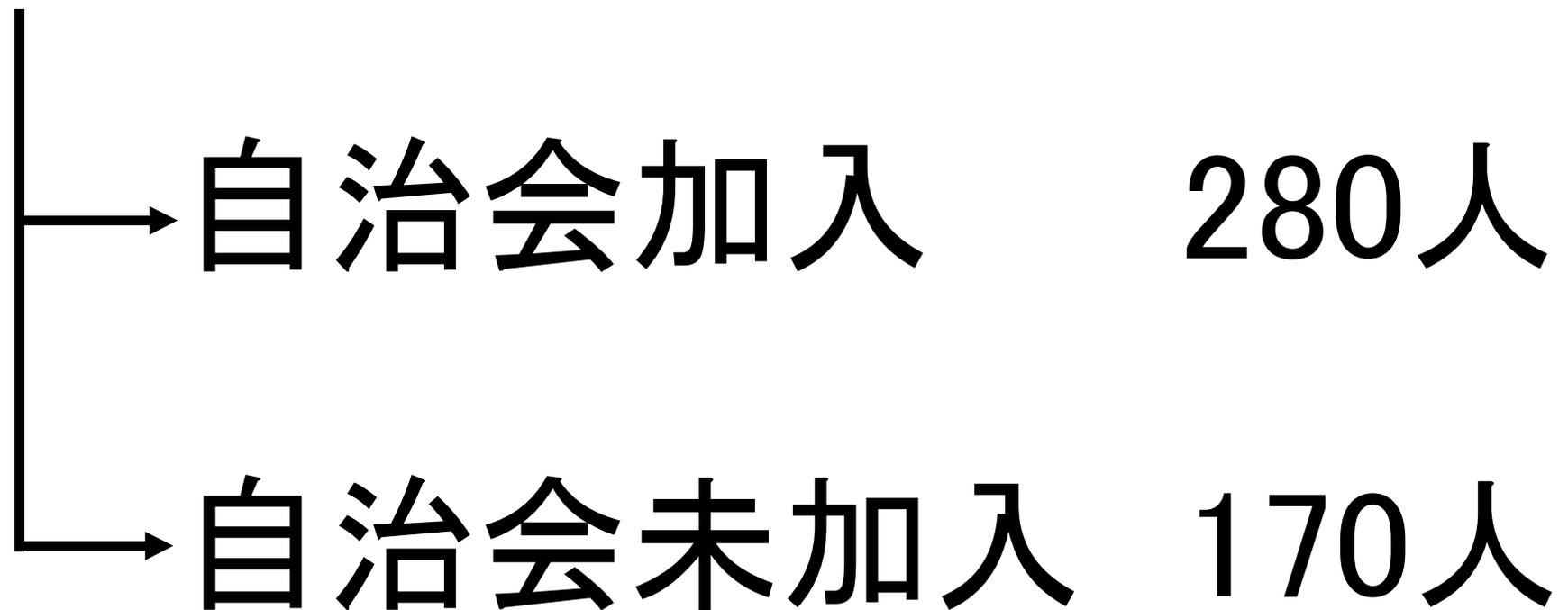


高齢者のみ
約190名



家族同居
約170名

東五の高齢者 450人



民生委員の活動

地域高齢者の安否確認

平成20年
当時

400人を見守るのは無理！



自治会との共同事業？

東青梅五丁目自治会の課題



自治会
加入率
の減少

防災対策

高齢者の
安全対策



自治会と民生委員の話し合い

自治会



民生委員

課題への
解決策を
模索中

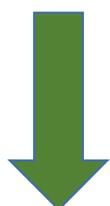
提案

要援護者
マップの作成

承認

名簿作りから

自治会役員と民生委員の共同
自治会員名簿を基に
高齢者名簿で肉付け



要援護者名簿出来上り



名簿を基に高齢者訪問

- 回覧を作成して周知徹底
- 緊急時安心・安全カードの作成
- 高齢者宅を訪問してカード記入の説明と回収



災害・緊急時活用カード

- ・災害、緊急時に消防署、警察署市役所等に提示することの同意
- ・氏名、住所、電話番号、生年月日
- ・緊急時の連絡先
- ・本人の現状(介助が必要、耳が遠い)

災害時要援護者マップ

平成20年度版「災害時要援護者
マップ」完成

自治会加入の高齢者：230名

カード登録者：214名（93%）

感謝

パワーアップ <1>

防災ボランティア組織作り



自治会員、ソフトボール・ビーチボール
バレー部員、育成会、子供会卒業者、
元気な高齢者等およそ200名がボラン
ティア登録！

パワーアップ <2>

青梅市市民活動推進課の助言により東京都が行う「地域の底力再生事業助成金」を申請
助成金20万円をいただきました
これにより自治会活動はさらに
・・・パワーアップ！・・・

防災ボランティア結団式

平成21年3月15日



補助金で防災
ボランティア
登録証を作成



東五防災ボランティア 災害時要援護者支援マニュアル

【はじめに】

大地震等により、広域的な災害が発生した場合、公的支援活動には制約があることから、要援護者に対する支援活動を地域が主体となって取組んでいく必要があります。

そのためには、自治会を中心として地域住民の理解と協力を得て、災害時にお手伝いをいただけるボランティアを確保すること、また、青梅市役所をはじめ関係機関等と連携・協力し、必要な支援を迅速かつ適切に実施できる体制を整備しておくことが重要です。

このマニュアルは、東五防災ボランティア用の災害時要援護者支援のためのものです。

東青梅五丁目自治会では、このマニュアルをもとに、災害時要援護者を見守り、支援する体制を整備していきます。

【東五防災ボランティアの役割】

- (1) 災害・緊急時にマップに登録された方の安否確認を行います。
- (2) 避難誘導が必要な場合には、協力の上、避難誘導を行います。
- (3) 避難所で東五自主防災組織の一員として活動に協力します。
- (4) 日頃よりマップに登録された方との関係づくりを行います。
- (5) なお、防災ボランティアの方には、できる範囲での支援を行っていただくもので、支援活動を行うにあたり責任を伴うものではありません。

【個人情報の取り扱い】

防災ボランティアとして知り得た要援護者の個人情報は、災害時の緊急対応目的及び要援護者への日頃のフォローアップ活動においてのみの利用とし、取扱いに十分に配慮しながら収集及び管理をしていただきます。

【災害が起きた時の流れ】

■ 防災ボランティア

- 自分の身を守ります。
 - 家族等の安否を確認します。
- ↓
- 要援護者の安否確認を行います。
 - 東五会館に集合します。
 - 状況により避難所へ誘導します。



■ 青梅市・自治会等

- 震度5弱以上で市災害対策本部が設置される予定です。
- 第八支会自主防災組織が設置されます。
- 東五自主防災組織を設置します。

- * 東青梅五丁目地域住民の避難所は、『東青梅市民センター』と『霞台中学校』になります。
- * 避難所は青梅市が設置を決定します。避難所では東五自主防災組織の指示のもと、東五防災ボランティアとして、要援護者の支援を行ってください。



第1回東青梅五丁目 防災ボランティア訓練



防災ボランティア結団式後

非常食の配布

防災ボランティアと高齢者の
顔合わせ・安否確認



東五防災ボランティア訓練

- マップの更新をして敬老の日開催
- 防災ボランティアに関する講演
- 非常食(アルファ米)作り
- 車椅子体験
- 高齢者の安否確認と避難誘導
- 消防団の放水訓練
- 子供会参加のお楽しみイベント
- 参加者全員での昼食会



高齢者安否
確認の打ち
合わせ



ご無事でしたか
心配事ありま
すか



子供会のポップ
コーン準備



社協職員の協力
で車椅子体験



消防団による
放水訓練



初対面の人も
直ぐに打ち解けて



車椅子での
避難



高齢者の
避難誘導



東京防災隣組

- 「災害時要援護者マップ作成と防災ボランティアによる安心支え合いネットワーク」の取り組みが認められ、平成25年4月21日、東京防災隣組として認定されました。
- 防災をキーワードに地域住民同士の交流を促進し、「地域で生きる」という意識を強く持って、地域力の向上を目指しています。



今後の展望や課題



防災訓練を見て自治会加入
世代間交流が計られる取り組み



登録者が当初の93%→80%
活動持続のための人材発掘
自治会の魅力をアピール

多くの皆様の協力を得て

第八支会事務局

防災課

市民活動推進課

近隣自治会

消防署

消防団

地域住民



社会福祉協議会

色々な気持ち
色々な立場を
足したり、引いたりして
形を作ってきました

これからも皆様のご協力を宜しく
お願い致します